プレゼンテーションとWebサイト作成の指導例

千葉県立八千代東高等学校
谷川　佳隆

今回発表する内容は前任校千葉県立船橋芝山高校での実践例になります。

選択科目「情報C」

- ２年と３年の自由選択科目に１講座ずつ設定。３０名弱。

週時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		国語総合				地理A		数学Ⅰ			数学A		化学基礎		生物基礎		体育			保健	(1) 芸術Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ			英語表現Ⅰ		家庭基礎		総合的な学習の時間	ホームルーム活動
2年		現代文B		古典総合		世界史B				数学Ⅱ			(2) 理科選択1				体育		保健	(3) 自由選択1	コミュニケーション英語Ⅱ					英語表現Ⅱ		情報の科学			
3年	文系	現代文B				古典B		(4) 地歴・理科選択				倫理		政治経済			体育			コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		(5) 自由選択2		(5) 自由選択2			
	理系	現代文B		倫理		政治経済		(6) 数学選択					(7) 理科選択2				(7) 理科選択2				体育			コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ			
週時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

1年間の指導の主な流れ

- 1学期：プレゼンテーション準備
- 2学期：プレゼンテーション発表とWebページ作成
- 3学期：Webサイトの完成

- 考査：期末考査のみ3回

1年目(2011)の失敗

- プレゼンテーションの発表では生徒の取り組みは良かったが、スライドの説得力をあげたいと感じた
- Webページを作成する一斉指導をしたが、興味・関心を高められなかった

1年目の光明

- ワークショップ「おもしろ村」を実施したところ、生徒の反応が良かった
- そこで、2年目からは個の知識やスキルアップだけではなく、グループでの課題解決の指導も取り入れた

グループでの作業の仕込み

- 3つのワークショップの活用
  - マシュマロ・チャレンジ
    グループでタワーを作成することでの共同作業の経験
  - 「匠の里」
    各自が持ち情報シートを基に課題を見つけ、グループで課題を解いていく
  - おもしろ村
    「匠の里」の発展版。「匠の里」で得た知識技能の確認と発展

1学期の指導の流れ

- 会社案内のプレゼンテーションの作成の一斉指導
- 客観的資料に基づくプレゼンテーションのための、グラフの作成と種類の一斉指導
- 発表タイトルの決定と準備
- 「マシュマロ・チャレンジ」
- 情報セキュリティコンクール

2学期前半の指導の流れ

- プレゼンテーション準備完了
- プレゼンテーション発表と相互評価
- プレゼンテーションの改良

プレゼンテーションの指導について

スライドの作成について

- タイトルは自由
- 発表時間は３～５分
- 根拠となる数値をグラフで表示したスライドをできたら入れる
- まとめと参考のスライドを入れる

発表について

- 発表する者は、話すだけ
- 次の発表者がPCの操作
- 発表が終わった者が時計係
- 時計係を終わった者が必ず質問をする
- 他の生徒ももちろん質問してよい
- 発表が終わったら相互評価をする

初めに
年間のお菓子の売り上げは
(スナック菓子・チョコレート・洋菓子・和菓子…)約3
兆2000億円になっている
お菓子が売れている理由は
なんだろう？

あと
1
分
"使用目的によって使い分ける"
"まとめ"

相互評価

発表の趣旨が理解できたか

- A. よく理解できた A=2
- B. 少しわからなかったがほとんど理解できた B=6
- C. あまり理解できなかった C=1
- D. まったく理解できなかった D=1

わかりやすい言葉で説明できたか

- A. 十分わかりやすかった A=2
- B. 少しわからないところがあったがほとんど理解できた B=5
- C. あまり理解できなかった C=0
- D. まったく理解できなかった D=1

具体例を挙げて説明できたか

- A. 具体例を挙げてわかりやすく説明していた A=1
- B. 具体例を挙げたので,すこしわかりやすかった B=8
- C. 具体例があったがわかりにくかった C=1
- D. 具体例がなかった D=1

グラフや表を効果的に使用していたか

A. 効果的に使用できていた	A=23件	82.1%
B. 使用していたが効果が少なかった	B=2件	7.1%
C. 使用していたが効果的でなかった	C=2件	7.1%
D. 使用していなかった	D=1件	3.6%

質問5の回答一覧

スライドの文字数が多くなかったか

A. 文字が多くなく、文字の大きさも大きく読みやすかった	A=21件	75.0%
B. 文字は多くなかったが、少し読みにくいところがあった	B=6件	21.4%
C. 文字が多いところや、文字の大きさも小さいところが多かった	C=1件	3.6%
D. 文字が多すぎて読む気もしなかった	D=0件	0.0%

質問6の回答一覧

文字と背景とのコントラストに気をつけたか

A. 文字が読みやすかった	A=23件	82.1%
B. 文字が背景と似た色で見にくかったところがあ	B=3件	10.7%

2学期後半の指導の流れ

- プレゼンテーションの改良
- 「匠の里」
- 「ビーバーコンテスト」
- Webページ作成
  （index.htmlを一斉指導）

3学期の指導の流れ

- Webページ5ページ目の作成を一斉に指導
- プレゼンテーションスライドのFLASH化
- グループで残り3ページを5分割してWebサイトの完成
- 「おもしろ村」
- 「第2回大学情報入試全国模擬試験」

Webサイトの指導について

Webページの指導の失敗から

- 各自が課題に沿った内容のWebページを作成する指導をしたが、生徒の関心・意欲を高められず、これではいけないと方法を変えた

Webサイトの指導方法

- 人数：一人　→グループ
- 内容：画一的
  →パーソナルなものへ
- 方法：0からタグ打ち
  →サンプルを基に変更

Webサイトの構成

- ホーム（サイト内容の紹介）
- 1学期の学習内容
- 2学期の学習内容
- 3学期の学習内容
- 学校紹介

作成の人数について

- 5名を基準に
- 各自で2ページ作成、5名で3ページを分担
- 担当箇所は、5か所
  1学期前半・1学期後半・2学期前半・2学期後半・3学期

Webサイトの作成方法

- サンプルWebページを基に、
  5ページからなるWebサイトを作成

Webサイトの構成ファイル

サンプルサイト	完成したサイト

Web作成内容 1

- 3つのプレゼンテーションスライドをページ内に表示

Web作成内容２

- ページの大見出しとフッターに、各自のページであることを表示
- 各自の著作物を意識させる

指導結果

- サンプルを活用したことで多くの時間を省略でき，CSSについてもわずかであったが指導することができた
- 筆者がサンプルサイトを活用して作成したサイトの紹介をし，わからなければコードを見てよいと指導したので，効率よくWebサイトの作成の指導ができた

参考

- Tom Wujec: Build a tower, build a team
  http://www.ted.com/talks/lang/ja/tom_wujec_build_a_tower.html
- 「匠の里」実物見本
  http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/kyouzaikoukai/pdf/CreativeSchool.pdf
- 進路意識を高め，学校生活に前向きに取り組むためのエクササイズ
  http://www.apec.aichi-c.ed.jp/shoko/kokoro/ex3-1.html
- TeraPad
  http://www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html
- シンプルCSSテンプレート[Cool Web Window]
  http://www.coolwebwindow.com/template/simple.php

プレゼンテーションとWebサイト作成の指導例

- 限られた時間で効率よく指導するためにグループワークを取り入れた
- グループワークを取り入れたことで生徒は楽しく課題に取り組むようになった

千葉県立八千代東高等学校
谷川　佳隆